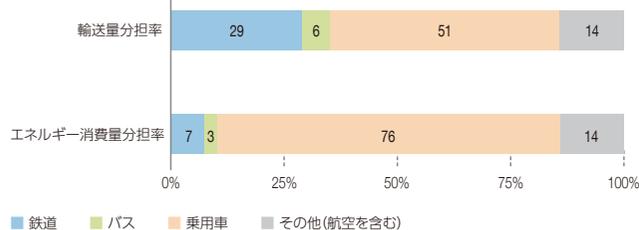


データ

環境データ

鉄道の環境優位性

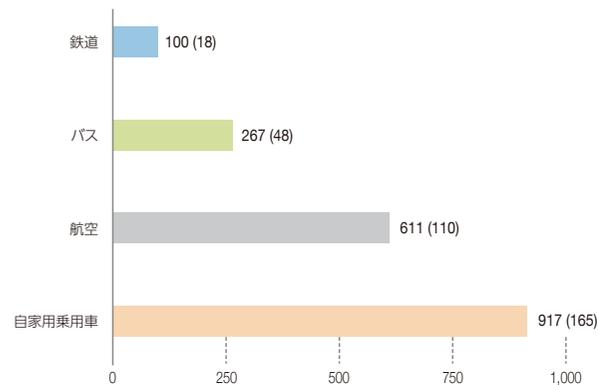
国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量の構成 (2008年度：全国)



資料:国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」G10「日本の温室効果ガス排出量データ」より算出

単位輸送量当たりのCO₂排出量【旅客】 (2009年度)

鉄道を100とした場合の指数



出典: 国土交通省ホームページをもとに作成

()内の数値は実際のCO₂排出量[g-CO₂/人キロ]

CO₂排出量削減、省エネルギーに向けた具体的な取り組み

●省エネルギー車両の導入

消費エネルギーの約8割を占める列車運行エネルギーを低減するために、「VVVFインバータ制御」や、「回生ブレーキ」などの省エネルギー機能を備えた新型車両を導入。

●地上設備の改善

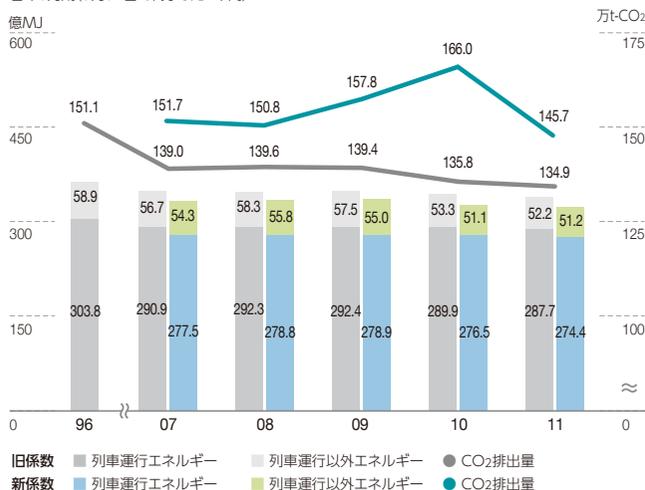
省エネルギー車両の特性をより発揮させるために地上設備を改善。「上下タイキ電方式」や「ハイブリッド給電システム」など回生ブレーキにより得られた電力を有効に活用できる設備づくりを進めている。

●駅、施設、オフィス等での省エネルギー化

列車運行エネルギーと比べると、駅設備等で使用されるエネルギーは少ないものの、バリアフリー化にとめないエネルギー消費量は増加傾向にある。使用エネルギーの低減に向けた技術開発に引き続き取り組むとともに、地球環境に配慮した駅「エコステーション」づくりを進めていく。

事業活動におけるエネルギー使用量とCO₂排出量の実績

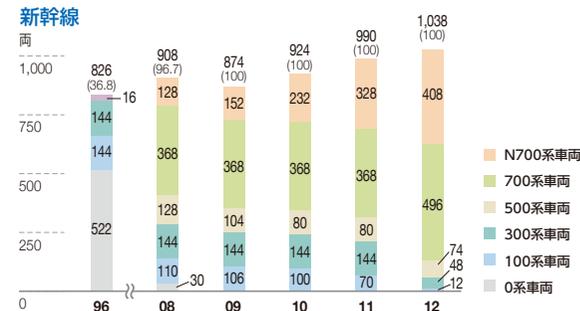
各年3月期(3月31日で終了した1年間)



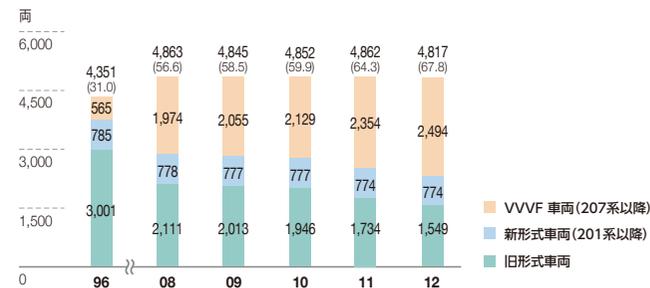
(注) 2006年度より列車運行以外のエネルギーは工場関係の液体燃料を集計に加えています。

省エネルギー車両導入の推移(営業車)

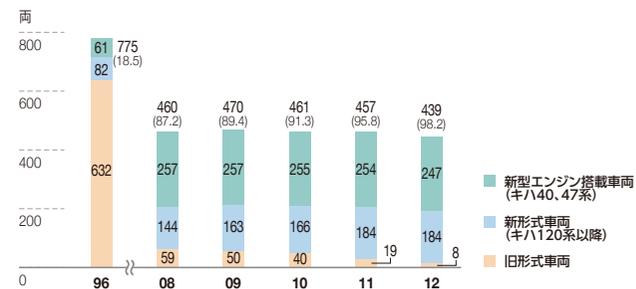
各年3月期(3月31日で終了した1年間)



在来線・電車



在来線・気動車



(注) ()内の数字は省エネルギー車両の比率を示します。